

「ひろだい探偵団」では、あなたの「なして？」を科学で解明するため、弘前大学の先生たちのユニークな研究を学生たちが取材し、紹介しています。



4月は「特別回」として、今年度記事制作に携わる学生4人の自己紹介（顔写真またはお気に入り写真を掲載）と、ひろだい探偵団の裏側をお届けします。

制作メンバーを紹介

佐々木志乃

（人文社会科学部4年）

先輩からこのお仕事を紹介していただいたとき、「自分の書いた記事が新聞に載るなんてすごい！」と思い、昨年8月から参加しました。

いざ始めてみるとうまくできないことばかりでしたが、回を重ねるごとに新しい発見があり、学びと成長につながっています。この貴重な機会に感謝しながら、皆さまに「なして？」と考えることの楽しさをお伝えできるよう、精一杯頑張ります！



中林 遼

（人文社会科学部3年）

総合大学である弘前大には多様な研究者が在籍しています。しかし、私はそのほとんどの研究内容をまだ知りません。

これから取材を通して、ひろだい探偵団を楽しむ皆さまの日常に寄り添うとともに、私自身の学生生活も豊かにできればうれしいです。

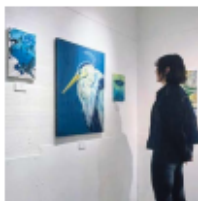
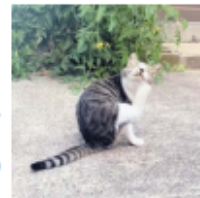
===== 特別回「ひろだい探偵団」の裏側を見てみよう！ =====

川崎 龍稀

（人文社会科学部3年）

はじめまして。趣味はモノづくりで、昔から料理やレゴブロックなど、手を動かして何かを作ることが好きです。現在は試行錯誤しながらゲームづくりを楽しんでいます。

文章を書くことも好きです。これから書く記事では、先生方の研究の魅力を読みやすく伝えられるよう頑張ります。



関川 智乃

（教育学部4年）

このたび、ひろだい探偵団でイラストを担当することになりました。私は絵画ゼミに所属し、普段は日本画を中心に制作しています。最近は個展などの活動を通して多くの人と出会い、表現や視点を広げてきました。

「なして？」という日常の小さな疑問から始まる探究の面白さを、イラストで表現していきたいと思っています。先生方のユニークな研究が、少しでも楽しく、身近に感じられるようなイラストを目指して頑張ります！

今回は6月29日掲載予定

ひろだい探偵団は、陸奥新報掲載と同時に弘前大のホームページにも掲載しております。過去に紹介した「なして？」もぜひご覧ください。

イラスト担当は取材内容からイメージを膨らませ、先生と研究内容を掛け合わせたイラストを描きます。

文章担当は先生からのインタビューシートを読み込んで取材に臨みます。先生に直接話を聞き、研究内容について理解を深めた上で、分かりやすく伝えることを心掛けて文章にまとめます。

▽「ひろだい探偵団」の裏側

ひろだい探偵団は2021年5月、連載がスタートしました。学生が文章とイラストを担当し、約2カ月かけて一つの記事を完成させています。



ユニークな研究をしている弘前大の先生に取材するメンバーたち

※この画像は、当該ページに限りて陸奥新報の記事利用を許諾したものです。

転載ならびにこのページへのリンクは固くお断りします。令和8年4月20日 陸奥新報掲載